

# 令和5年度東京都学生弓道連盟臨時総会 議事録

於：オンライン Zoom

日時：令和5年1月26日（木） 18時00分～20時05分

司会：都学委員長 南嶋 洋平

書記：狩野 秀鷹

土井 可蓮

## 議題

1. 定足数確認
2. 第70期リーグ戦、女子部リーグ戦日程
3. 役員派遣負担金制度に関して
4. 新年度役員に関して
5. 対面マニュアル
6. 近日開催予定の大会等に関して
7. 連絡事項 第34回全国大学弓道選抜大会出場校追加のお知らせ

### 1. 定足数確認

現在54校が本連盟に所属。

45校の出席と9校の委任状により総会は正常に成立する。

### 2. 第70期リーグ戦、女子部リーグ戦日程

会場の都合にて2023年インカレ大会の後ろ倒しが確定

- ・提案1：9/9スタート
- ・提案2：9/16スタート

○事前アンケートの結果

『インカレ開催会場の都合により何らかの変更が必要であるか。』

- ・後ろ倒しが必要である。 55.6%→合宿、練習試合の実施、過密日程
- ・日程変更の必要はない。 42.2%→合宿を行わない、授業期間への重なり

『連盟が考えている日程案を踏まえてどちらが良いと考えるか。』

- ・ 日程案1(9/9スタート) 35.6%
- ・ 日程案2(9/16スタート) 62.2%
- (・ 9/23スタート 1校)

○日程の制約に関して

- ・ インカレ大会シリーズ

インカレ参加し、そのあとに夏合宿や各種イベントがある大学が多い

→過度な早期開催は非現実的

- ・ 伊勢大会

各地区のリーグ戦の結果により出場校や出場者が決定し宿泊や選手登録など事務的な作業によるもの→過度な後ろ倒しは大会に支障あり

以上のことからリーグ戦の日程は2つに絞られる

[学習院大学より質問]

入れ替え戦が11月ですと学園祭シーズンと被る大学が多くなるが、それは配慮されているのか。その場合道場の使用にも影響が出るが、どうするつもりなのか。

→それらも考慮して投票してほしい

\* リーグ戦の日程は提案1と提案2どちらが良いか。

【5分間の相談タイム】

結果としては、44校中、提案1が39%、提案2が61%、未投票1校のため過半数により提案2「9/16スタート」が採用

### 3. 役員派遣負担金制度に関して

○過程

22年12月開催の学生弓道合同研修会にて発議し、当日議論を実施。当初の負担金の請求額の決定方法及び根拠に関して疑問が多く呈され「役員派遣負担金」自体の導入の決議を行い、負担金の金額設定に関してのみ後日再議することになった。

○今回の提案内容

連盟日・部員登録費を半額にし、減収入分を非派遣校で部員数に基づいて負担するシステム

- ① 連盟費及び部員登録費を半額にし、残余分は部員登録費を通して回収する。
  - ・連盟費：¥20,000→¥10,000
  - ・登録費：¥1,000→¥500
  
- ② 減収分を役員非派遣校に役員派遣負担金として負担してもらう。ただし、負担割合として面接に参加した大学の方が面接不参加大学より少なくなるよう設計。これを加重率として定義し、部員数と掛け合わせたものを加重部員数として定義。
  - ・参加：部員数×1.5倍
  - ・不参加：部員数×2.0倍
  
- ③ なお、百射会までに内定辞退した場合は加重率を3倍とし、それ以降に蒸発した場合・更迭された場合は更迭条項に適用する。

[実演]

○制度の根拠

- ・東京都学生弓道連盟会計の項目別収支状況(67期～68期)

全関東学生弓道選手権大会：赤字

百射会・記録会・新人戦：ほぼ±0

全体収支：約80万円の黒字

⇒項目ごとに確認した場合、全関東学生弓道選手権大会が明らかな赤字

全関東学生弓道選手権大会の参加費などの値上げを受け、各大会会計への経済的負担が増大。⇒新制度を通して更なる圧迫は悪影響かつ余剰利益を生む

○その他詳細な運用方法について

- ・本制度導入前に役員としてすでに部員を派遣している部員を派遣いただいている大学に関しては、公平性担保の観点よりカウントしないものとし、役員を派遣していない状態として扱う。
- ・「内定後辞退」は、「その年の派遣決定後、百射会・記録会までに当該役員が辞めた場合」と定義する。
- ・現状として、今期分の連盟費及び部員登録費はすでにそれぞれ¥20,000と¥1,000で徴収

済み。⇒今期に関して特例的には建行に対しては本連盟主催大会における手伝い役員派遣対象からの除外で対応可能

○内定後辞退の倍率調整に関して

- ・事前アンケートにて複数「内定後辞退の加重倍率が高すぎるのではないか」という意見があった。特に「当該部員に特段事情があった場合」に念頭を置いた意見あり。
- ・本指摘に対する見解として、部内である程度人選などを絞った上での面接を受けさせる判断であるとする為、不可抗力的な場合でない限りは特段考慮する必要はないと考える。

[法政大学より質問]

本学では現在4年に一度学連役員を派遣しているが、この4年に一度というのは本学によって定めている期間なのか、学連側が定めている期間なのかどちらなのか。

→学連内においては、周期的に特定の大学から役員を派遣するというように定めている訳ではない。大学ごとによって引き継がれている取り決めと解釈する。

[法政大学より質問]

上記の質問で本学によって定めていると判断したが、その場合派遣しない3年間は徴収金の倍率は上がるのか。

→派遣された学連役員が現役の間は徴収金の倍率は上がらないものとする。(加重率1倍)

[東京理科大学より質問]

現在2年生(春から3年生)の役員を派遣していて4年生まで役員として働く予定であり、既に派遣している為今年度は派遣無しになるが、それ以降の年度ではどのような扱いになるのか。

→今現在役員を派遣している大学に関しては当制度導入前の為、公平性の観点からこの制度には加味しないものとする。

[日本女子体育大学より質問]

負担金について、女子大学の負担金についてはどのようになるのか。

→当制度は部員数の多少どちらにも対応できている制度だと考えている。採用される役員の性別についても制限は無い為、女子大学や男子が多い大学等に対して特別に処置をする予定は現時点では無い。

[立正大学より質問]

役員派遣負担金は東京都学生弓道連盟、全日本学生弓道連盟の役員関係なく対象ということなのか。それとも東京都学生弓道連盟のみの派遣に関してなのか。

→東京都学生弓道連盟に所属する大学から派遣された部員が対象となる。その為全日本学生弓道連盟の役員として採用された場合でも、当制度は適用される。

[成城大学より質問]

今期役員を派遣している大学については加味しないとのことだが、現在派遣している役員が来季も引き続き活動する場合、来期はこの制度が適用されるという認識で良いのか。

→制度導入以後に学連役員となった方が最上級の代まで占めた際に、その役員が現役の間は役員負担派遣金を請求しないものとする。

【19時00分～19時20分まで休憩】

## 4. 新年度役員に関して

○新年度役員の今後の募集日程に関して

・1月26日～2月5日：**アンケート2点を公開**

- 役員派遣の有無に関するアンケート（大学単位で回答）
- 面接を受ける部員に関するアンケート（立候補する場合のみ当人が回答）

・2月中：**面接実施期間**

- 各週の火曜日と木曜日を実施日として設定

・3月中：派遣校公表

- 派遣する大学のみ公表

## 5. 対面マニュアル

○事前アンケートの回答

・数点、第2版内容に関して記載ミスの指摘あり

- 〈女子版〉午後のタイムスケジュールの箇所に午前の時間が記載されている
- 〈女子版〉三つ巴の的の看数が違う（8→4）  
⇒単純ミスの為、訂正にて対応予定

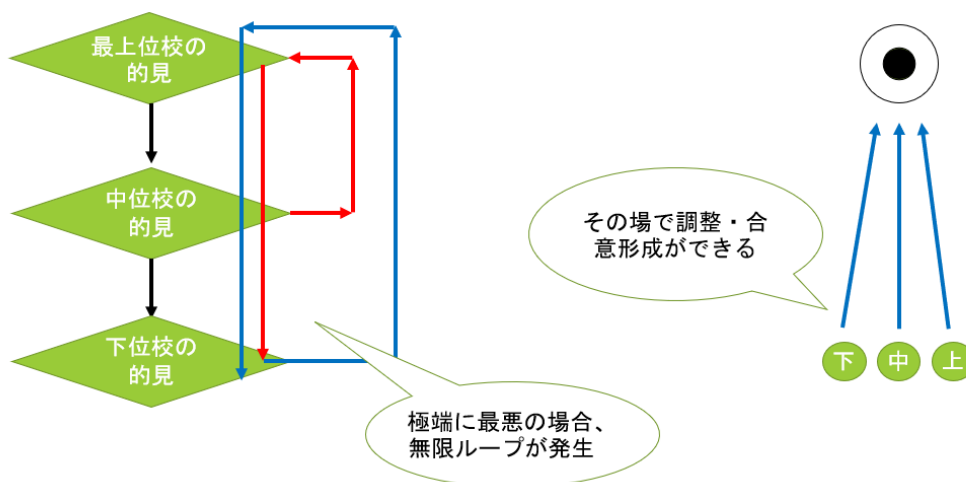
- 的見において、三校戦以上の場合一斉に入りの見を行うとあるが、なぜ各校がそれぞ

れで行う形での見を行う形式ではないのが疑問である

⇒研修会にて特段指摘がなかった部分につき、男子版の方に関する指摘として説明する

• 3校それぞれでの見を行う場合のフロー（例）

• 3校同時に的見を行う場合



⇒3校それぞれの的見では中位校以下の大学が的位置修正をした場合に最上位校からチェックし直す為、意見が食い違うことで永遠と的見が終わらなくなる可能性が存在する。3校同時の場合はその場で合意形成を行うので効率良く、少ない時間で終わらすことができる。

\* 事前アンケートで指摘されたミスを修正した対面マニュアル第2版を採択するか

【2分間の相談タイム】

結果としては、45校中45校が賛成の為、採択された。

## 6. 近日開催予定の大会等に関して

○69期新人戦に関して

◎実施要項抜粋

・開催方式

- 1回戦～4(3)回戦：オンライン開催
- 準決勝、決勝、3位決定戦：対面開催

・選手登録に関して

- 選手登録期間：2月1日0:00～2月17日23:59:59まで
- ▷ 試合組みの都合上、各大学男女それぞれ1チームまでに限定
- ▷ 「新人」の定義に関して要確認のこと

〈新人の定義〉

：東京都学生弓道連盟主催のリーグ戦において、第一週から第五週、順位決定戦、および入れ替え戦のどの試合にも一切出場経験のない者。選手登録がなされていたり、控え選手として立順用紙に名前が書かれたりしていても、実際に試合に出場していなければ新人である。

・その他

- 2月18日にトーナメント抽選会を実施。参加登録と同様の扱いをする為、出場する大学は必ず出席するように。（無断欠席の場合は棄権とみなす）

[成城大学より質問]

前年度新人戦に出場したものの、リーグ戦への出場をしていない部員については新人となるのか。

→前年度の新人戦に出場したかどうかは今年度の新人戦に参加できるか否かには関わらない。純粹にリーグ戦に出場していない選手が新人として扱われる。

[工学院大学より質問]

入れ替え戦のみ出場した選手も旧人扱いと言う認識で良いのか。

→旧人として扱う。

[立教大学より質問]

トーナメント抽選会はオンラインでの開催か。

→現段階ではオンラインでの開催を予定。

◎応援に関して

・発声を伴う応援等に関して

- 1回戦～4回戦（オンライン開催試合）
- ▷ 矢声や鳴き等、応援や選手の鼓舞を目的とする声援は一切を禁止する  
⇒道場や大学の規定の差異に基づく不公平性を排除する為
- 準決勝、決勝、3位決定戦（対面開催試合）
- ▷ 試験的に学連側からの制限はないものとする

- ⇒今後の大会において声援を復活できるかの検討材料とする為
- ▷ ただし、**会場校側から制限がある場合はこれを優先**して従うこと
- 例)「選手以外はマスク着用」、「大学当局の規制により一切禁止」等

#### [一橋大学より質問]

オンライン抽選会の時間とオンラインでの開催方法を知りたい。

→時間は夕方（18時、19時頃）を予定している。開催方法は ZOOM 上で行う。新人戦実施要項のおさらいや、対戦カード決めが主な内容となる。この結果を基に立合校決め等を行う。

#### ◎試合の日程調整

- ・ 試合日程の調整に関して
  - 事前に各試合ごとに予備日を設定
    - ▷ 土曜日実施の試合：前日金曜日が予備日
    - ▷ 日曜日実施の試合：翌日月曜日が予備日
  - ※本連盟指定の日程以外の予備日の設定は一切認めない  
(トーナメント形式の試合の都合上)
  - 日程調整の依頼があった場合、物理的に不可能な場合を除き応じること
    - ▷ 予備日での実施が不可能な場合、当初の日程で試合を実施できない大学側の不戦敗として扱う
    - ▷ 日程調整の依頼を確認した時点で、審判校が学連に連絡し許可済みか確認

#### ◎連絡方法

- ・ 対戦校と審判校間の連絡方法に関して
  - 昨年同様、**学連作成のオープンチャットに限定**  
⇒迅速なトラブル報告と過程の確認ができるようにする為
- ・ オープンチャット参加のタイミングに関して
  - 場合によっては早急な対処を要する事態があり得る為、
    - ▷ **当該試合の2週間前**
    - ▷ **当該試合に出場することが確定した瞬間**
  - ↑上記のうち早い方のタイミングまでに参加すること（審判校も同様）

#### [青山学院大学より質問]

オープンチャット参加のタイミングに関して上記のうち早い方とあるが、トーナメント戦



の都合上「当該試合の2週間前」のパターンが、「当該試合に出場すること確定した瞬間」のパターンより早くなってしまう場合がある。このとき次の試合に進むかどうかわからない状態つまり4校がオープンチャットに参加する可能性があるが、どのようにするつもりか。

→その場合は「当該試合に出場すること確定した瞬間」のパターンが該当する。万が一2回戦等に進出した際に、試合当日に考慮すべき事柄で出場することが困難な場合は、オープンチャットに参加して事前に報告してほしい。その為一時的にオープンチャットに4校が存在しても構わない。あくまで「当該試合の2週間前」のパターンは立合校向けの条項となる。

#### ○百射会・女子部記録会に関して

##### ・開催日程

- 女子部記録会：5月5日（金）
- 百射会          ：5月6日（土）

##### ・選手登録期間

- 女子部記録会：3月1日～3月27日（予定）
- 百射会          ：3月1日～3月27日（予定）

##### ・観客動員に関して

- 動員方向、詳細は後日公表

##### ・大学ごとの出場選手人数の決定方法

前回大会出場選手の最高記録順に大学を列記



上位大学から順に第一候補の選手を出場とし、最大出場可能選手数に達するまで、上位→下位の順番で出場者を決定する

前回	大学名	第1希望	第2希望	第3希望
1位	あ大学	A	P	
2位	い大学	B	Q	
3位	う大学	C		
4位	え大学	D	R	Z
5位	お大学	E	S	AA
6位	か大学	F	T	AB
7位	き大学	G		
8位	く大学	H		
9位	け大学	I	U	
10位	こ大学	J	V	
11位	さ大学	K		
12位	し大学	L		
13位	す大学	M	W	AC
14位	せ大学	N	X	AD
15位	そ大学	O	Y	
		15	10	5

例) 最大出場枠が27だった場合

## 7. 連絡事項 第34回全国大学弓道選抜大会出場校追加のお知らせ

- ・ 前回大会（第33回）の優勝校が男女ともに東京都学生弓道連盟の加盟校だったことを受け、本年は男女各11校が出場可能になった

〈補足〉

→東京都学生弓道連盟より全国選抜大会への参加資格を持つのは、リーグ戦第Ⅰ～Ⅴ週における団体的中率が男女それぞれ上位10大学の大学

- ・ 上記の結果、
  - 男子：東洋大学
  - 女子：東京大学
の出場が決定した。

## (男子)

学校名	第1選	第2選	第3選	第4選	第5選	合計	平均	順位	↓1
桜美林大学		145	142	139	138	564	141	1	
法政大学	139	141	143		140	563	140.75	2	
日本大学	136		128	139	139	542	135.5	3	
明治大学	128	140	128	131		527	131.75	4	
慶応義塾大学	134		130	123	128	515	128.75	5	
早稲田大学	121	133		140	121	515	128.75	5	
中央大学	119	128	125		138	510	127.5	7	
東京大学	106		116	120	120	462	115.5	8	
東京郵立大学	110	105	108		118	441	110.25	9	
東京農業大学		116	103	105	114	438	109.5	10	
東洋大学	118	107	97	106		428	107	11	
日本体育大学	103	103	108		106	420	105	12	
専修大学	89	113		113	104	419	104.75	13	
立教大学	113	108	105	87		413	103.25	14	

## (女子)

学校名	第1選	第2選	第3選	第4選	第5選	合計	平均	順位	↓1
日本大学	61	65	71		71	268	67	1	
桜美林大学	61		62	71	73	267	66.75	2	
明治大学	59	69		71	64	263	65.75	3	
中央大学	55		60	65	69	249	62.25	4	
早稲田大学	62	61	62		63	248	62	5	
東京農業大学	58	53	65		58	234	58.5	6	
専修大学	49	57	62	46		214	53.5	7	
法政大学		56	45	53	60	214	53.5	7	
日本女子体育大学		48	56	45	54	203	50.75	9	
立教大学		48	49	48	58	203	50.75	9	
東京大学	42		47	50	52	191	47.75	11	
慶応義塾大学	45		41	45	59	190	47.5	12	
東洋大学	39	44		47	56	186	46.5	13	

[全日本学生弓道連盟執行委員長の井上より連絡]

本日は会議お疲れ様です。

すでにメールでお知らせしている通り、現在、全日本学生弓道連盟では全加盟校を対象にアンケートを実施しております。

下記リンクより回答いただけますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfzU\\_n2T0putAy2ITOnpzwEMCtdNChMEQIEFmcCAHxa0vsEaQ/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfzU_n2T0putAy2ITOnpzwEMCtdNChMEQIEFmcCAHxa0vsEaQ/viewform)

[学習院大学より質問]

部員に学連役員の仕事について説明する際、参考にできる資料のPDFはどこから確認できるのか。第48回学生弓道合同研修会において紙面で配布されたような資料が欲しい。

→以前配布した資料は第48回学生弓道合同研修会の為に用意した資料の為、PDF等の用意はできていない。メーリスやHP等を通して閲覧できるように準備するのでもう少し待っていただきたい。

[法政大学より質問]

賞状やトロフィーの受け取りはいつごろになるのか。

→賞品賞状を管理する部署に確認の上、後日連絡させていただく。

[芝浦工業大学より質問]

女子部で新人戦に出場ができない場合はトーナメント抽選会の出席する必要はないという認識で良いか。

→男子部は出場するが女子部は出場しない場合は、女子部の代表者は出席していただかなくて問題ない。

[東京工科大学より質問]

これまでご説明いただいた大会で参加費が必要なものはあるか。

→当連盟主催の大会の中では、新人戦とリーグ戦を除いて参加費が必要となる。

令和5年2月9日